

2004年(平成16年)6月6日(日曜日)

市内 地域 農林 畜産 畜産

「日本の里地里山30」に選ばれた 美浜町・布土まちづくり推進委員会



「日本の里地里山30」コンテスト(読売新聞社主催)で受賞した、美浜町の布土まちづくり推進委員会の人たちが住む地域には、水田や山林が広がる。鳥のさえずりが聞こえるハイキングコースに、推進委員会の人たちの草刈り機のエンジン音が響く。草刈りに植樹、手作りの肥料を使った花壇づくりなど、さまざまな活動に取り組んでいる。

同委員会は、美浜町の呼びかけで一九九四年四月に発足した。活動の中心となっている委員は、三十歳代から六十歳代の二十一人

紅葉ハイクが自慢

で、農業、高校教諭、主婦など職業もいろいろだ。行政主導から住民主導へと発展してきた。

生ごみの減量を推進するため、EM菌(有用微生物群)に米ぬかやもみ殻を混ぜたEMぼかしを作り、住民に配布した。EMぼかしを使った肥料で花の苗を作り、道路沿いや駅にプランターを設置し、美化活動にも努めている。

また、町と共催でハイキングを毎秋企画し、毎回百人を超える参加者でにぎわっている。約十一キロのハイキングコースのうち、布土地区の約二・五キロに見晴らし台などを設けた。元小学校教諭川平美代子さん(59)は「楽しく活動することを心がけています。紅葉がきれいなハイキングコースがあることを、多くの人に知ってもらいたいにも頑張ります」と張り切っている。

ハイキングコースの草刈りに汗を流す布土まちづくり推進委員会のメンバーたち